

牛群検定の試行（お試し検定）は継続して募集しています！

牛群検定を無料で体験できる牛群検定の試行（通称「お試し検定」）は、6月末で一旦締めさせていただきますが、継続して検定農家を募集しています。この事業は、牛群検定にかかる諸経費を、最大6ヶ月間、家畜改良事業団がサポートするというお得な事業です。お知り合いの検定未加入の酪農家に「今がチャンス！」とお伝え下さい。

牛群検定を始めれば、自宅のパソコンや携帯電話で検定データを活用できる「繁殖台帳 Web システム」も使い放題です。また、乳量計のレンタルもあわせて行っています。

牛群検定の試行、乳量計レンタル、繁殖台帳Webシステム について詳しくは、
当団ホームページ <http://liaj.lin.gr.jp/> **家畜改良事業団** **検索**

暑熱対策は十分ですか？粗飼料の与え方のポイント！

夏本番！暑熱対策は十分ですか？暑熱対策のポイントは大きく3つに分類できます。

- 1) 牛を暖めない → 牛舎への日射や放牧管理
- 2) 牛を冷やす → 送風、舎内換気、
- 3) 牛から熱を出さない → 飲水、飼料管理

これらのいずれもが重要なポイントですが、意外と見落とされがちなのが飼料管理です。暑熱により採食量に影響をうける飼料は、濃厚飼料<サイレージ<粗飼料の順になります。従いまして、粗飼料の管理が大切になります。体温を上昇させない粗飼料の与え方のポイントは、次の通り

- ①粗剛なものより良質粗飼料（刈り遅れ注意）
- ②1回給与より複数回での給与
- ③昼間より夜間中心の給与

そして、採食量がどうしても少ない場合は、粗飼料を減量して濃厚飼料を増量することも牛体を維持するためには必要なこととなります。



- ・ **TMRを利用している場合**：TMRは調整後10時間程度で発酵を開始し温度が上昇します。50度程度まで上昇し劣化するばかりか、舎内温度も上昇させることもあります。1回給与で放置せず、複数回に分けて給与することが必要です。

牛群検定の利活用などについて解説記事を掲載しています

- 1 **配合飼料を再考する なぜ高まる配合依存度**
デーリイマン7月号
最近の濃厚飼料給与の実態を牛群検定データから解説しています
- 2 **最近の分娩間隔の解説**
デーリイマン8月号、畜産コンサルタント8月号、畜産技術8月号、全国農業新聞、開拓情報7月号、以上5誌に掲載
- 3 **次世代診断関連の解説**
デーリイジャパン8月号、開拓情報6月号、畜産会経営情報6月7月号、デーリイマン7月8月号、広島らくのうだより4月6月号
以上5誌に牛群検定の新しい情報である次世代診断を解説しています。
- 4 **新しい検定成績表について（その21）一次世代診断情報（総合診断）**
LIAJニュース（家畜改良事業団）No135 平成24年7月号
あなたの牛群の泌乳と体型はバランスの良い改良方向に進んでいますか？次世代診断情報をみれば矢印で視覚的に把握できます。本解説で詳しく紹介しております。入手については、最寄りの種雄牛センターまたは事業所にお問い合わせいただければ、無料でお送りします。
バックナンバーは、以下の当団ホームページをご参照下さい。
<http://liaj.lin.gr.jp/japanese/kentei/kentei.html> **牛群検定情報** **検索**

夏季は体細胞数にご用心！乳成分速報をご利用ください！

「体細胞数が増える夏季は一刻でも早く、体細胞数を把握したい！」とお考えの検定農家には、乳成分速報があります。乳成分速報は、サンプルの乳成分分析が終わったらすぐに乳成分の結果のみを迅速に検定農家にF a xあるいはメールするシステムです。検定のエラーチェック等で遅れることはなく、検定終了後2日程度で検定農家に送信されます。すでに300戸以上の検定農家が利用しています。F a xの場合は実費30円/回、メールの場合は無料です。地域によっては利用できない場合がありますので、お問い合わせください。

(家畜改良事業団電子計算センター toiawase @ liaj.or.jp T03-5621-8921)

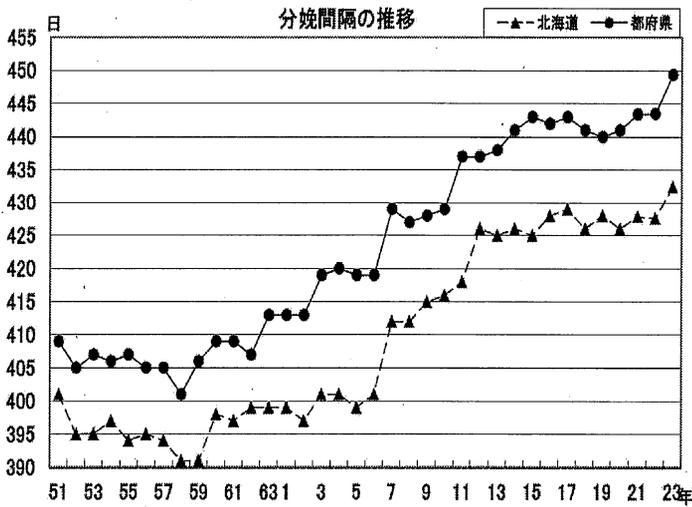
乳成分の分析結果 速報

番号	サンプル瓶番号	個体識別番号	1夜 2朝	乳脂率	蛋白質率	無脂 固形分率	乳糖率	体細胞数 (千/ml)	MUN (mg/dl)
1	0012	999999999	1	4.13	3.23	8.68	4.45	114	11.7
2	0012	999999999	2	4.24	3.35	8.84	4.49	136	11.7
3	0013	999999999	1	4.33	3.01	8.51	4.50	80	11.7
4	0013	999999999	2	4.09	3.05	8.59	4.54	61	11.7
5	0014	999999999	1	3.67	3.01	8.42	4.41	50	11.2

夜朝別々に、表示されます！

以下略

分娩間隔が過去最長を記録！夏季の発情発見に一工夫を！



平成23年の牛群検定事業での分娩間隔は、全国平均で438日（北海道432日、都府県449日）となり、牛群検定が始まって以来の最長記録を更新してしまいました。これは平成22年の記録的な夏季猛暑の影響により発情の鈍化や受胎率の低下がおきたものによると推察されるようです。なお、305日乳量は9,225kgと前年より61kgの減少を記録しています。詳しくはホームページに掲載してありますので併せてご利用ください。

<http://liaj.lin.gr.jp/japanese/newmilk/index.html>

乳牛最新情報 検索

乳用牛受胎率向上のための重要管理点チェックシート(酪農家向け)

工程	チェック項目	(✓)		チェック項目No.	チェック項目の必要性
		YES	NO		
I. 発情観察と授精	1. 発情観察を毎日行っていますか。			I-1	・発情の観察は、発情発現状況の進行経過(発情開始時間、発情徴候等)から授精適期を判断するために極めて重要で、受胎率向上に大きく影響します。
	2. 決まった時間に発情観察を2回以上行っていますか。			I-2	・受胎率を向上させるためには、毎日、2回以上決まった時間の発情観察は欠かせません。
	3. 発情を見つけやすい時間帯、場所を把握していますか。			I-3	・発情を見つけやすい時間帯、場所を把握しておくことが非常に大事です。
	4. 外部発情徴候を的確に確認できていますか。			I-4	・受胎率を向上させるためには必要です。
	5. 次のどの発情徴候があれば受胎率が高いと意識していますか。			I-5	・受胎率を向上させるためには、発情徴候を確認のうえ授精適期を把握することが欠かせません。
	1) マウンティング			I-5-1)	・発情初期には、マウンティング(他の牛に乗駕をする行動)が見られます。
	2) スタンディング			I-5-2)	・発情最盛期には、スタンディング(他の牛の乗駕を許容する行動)が見られます。
	3) 発情粘液			I-5-3)	・発情粘液が漏出し、外陰部、尾、背中等に乾燥して付着した状態が見られます。
	4) 外陰部腫脹			I-5-4)	・発情期には外陰部が腫脹し、広がると充血しているのが見られます。
	5) 外陰部充血			I-5-5)	・発情期には外陰部の陰唇を指で広げると粘膜が充血しているのが見られます。
	6. その他(採食量の減少、落ち着きがなくそわそわする、咆吼など)			I-5-6)	・発情牛は採食行動が散漫になったり、落ち着きなく動いたり、普段とは異なる声で鳴きます。
	6. 授精適期を把握してAIを行っていますか。			I-6	・受胎率を向上させるためには、授精適期の把握が必要です。
	7. AI後の次の発情は、特に注意していますか。			I-7	・AIを行ったら、次回発情予定日の前後3日間は発情が発現するか否かを注意して観察することが、確実に受胎させるため特に必要です。
	8. 発情観察する人を決めていますか。			I-8	・発情を観察する人は、いつも発情を観察し慣れた人が適任です。
	9. 発情観察(前回の発情を含む)の記録を取っていますか。			I-9	・発情観察の記録は、次回のAIや獣医師に診療を依頼する際に重要な情報になります。
	10. 分娩後、授精開始予定日から20日以上経過しても発情がない場合は、獣医師に診療を依頼していますか。			I-10	・卵巣や子宮の障害、異常疾患、疾病の可能性もあるので獣医師に診てもらわなければならない場合があります。

(社) 日本家畜人工授精師協会

繁殖管理は、繁殖台帳Webシステムの利用が一番です！